

No.	キーワード	説明文
1	論語と算盤	1916年刊行。「論語で人格を磨くこと」と「資本主義で利益を追求すること」の両立が大切と説く
2	パリ万国博覧会	1867年将軍徳川慶喜の弟・昭武に随行して参列。株式会社や金融(銀行)の仕組みなどを調査・研究。
3	第一国立銀行（現・みずほ銀行）	1873年に設立された日本最古の銀行。渋沢栄一は総監役。
4	理化学研究所	1913年の高峰譲吉による国民科学研究所の必要性提唱に賛同し広く訴えたのをきっかけに設立
5	東京証券取引所	1878年渋沢栄一らの出願によって設立。 日本初の公的な証券取引機関
6	商法講習所（現・一橋大学）	1875年森有礼が、渋沢栄一の協力を得て創設した商業学校 英会話と簿記を教えていた
7	大倉商業学校（現・東京経済大学）	1898年大倉喜八郎の還暦の記念に石黒忠恵・渡辺洪基とともに設立した商業学校
8	東京瓦斯（現・東京ガス）	1885年日本初の民間ガス会社として設立
9	東京海上火災保険（現・東京海上日動火災保険）	1879年日本初の保険会社として設立
10	抄紙会社（現・日本製紙/王子ホールディングス株式会社）	1873年印刷物の普及のために安価で大量印刷が可能な洋紙製造を行う会社として創立
11	田園都市（現・東急/小田急/京王など）	1918年理想的な住宅地「田園都市」開発を目的に設立
12	秩父セメント（現・太平洋セメント）	1923年セメントの需要を見込んで親戚の諸井恒平を支援して設立
13	帝国ホテル	1890年日本の「迎賓館」の役割を担うべく渋沢栄一などが発起人となって設立
14	京阪電気鉄道（現・京阪ホールディングス）	1906年京都と大阪を結び地域社会を発展させるため創立
15	ジャパン・ブルワリー・カンパニー（現・キリンホールディングス）	1885年創立の翌年に日本人株主の一人として参画、 1889年に重役に任命
16	札幌麦酒会社（現・サッポロホールディングス/アサヒグループホールディングス）	1887年発起人の一人として参画、 1894年には会長に就任
17	大阪紡（現・東洋紡）	1882年日本最初の大紡績工場として渋沢栄一によって設立。 1886年民間で初めて電灯を導入
18	二松學舎（現・二松學舎大学）	1919年に渋沢栄一が第3代舎長に就任。1877年に三島中洲の開いた漢学塾を起源とする
19	富岡製糸場	1872年に生糸の品質向上と増産のため明治政府により設立。当時大蔵省にいた渋沢栄一は設置主任となり、設立に尽力した。
20	同志社大学	1875年に新島襄の私塾「同志社英学校」を淵源に1920年設立。 渋沢栄一も寄付金の取り纏めに関わる。
21	女子教育奨励会	1886年に伊藤博文の勧めで評議員を務め、1888年東京女学館になると会計監督、館長、理事長を歴任
22	博愛社（現・日本赤十字社）	1877年に佐野常民と大給恒によって設立された救護団体。 渋沢栄一は1880年に社員、1886年に議員。
23	聖路加病院（現：聖路加国際病院）	1901年にR.B.トイスラーが設立。 1914年より渋沢栄一が評議員副会長、評議員長を歴任するなど支援
24	滝乃川学園	1897年日本最初の知的障害児者のための教育機関・福祉施設。 第3代理事長に渋沢栄一が就任

No.	キーワード	説明文
25	飛鳥山邸	1879年「職住接近」の考え方から王子製紙の近くに別荘として建て、内外の賓客を招く。1901年から本邸
26	愛の家	1923年新渡戸稲造の養女 新渡戸コトラ三人の女性により設立、渋沢栄一は新渡戸稲造の縁から支援
27	青淵文庫	1925年渋沢栄一の傘寿と子爵への昇格を祝い竜門社（現：渋沢栄一記念財団）より贈呈された図書館
28	晩香廬	1917年渋沢栄一の喜寿を祝い現在の清水建設（株）が送った洋風茶室
29	七社神社	創建年代不詳。古くより西ヶ原村（東京都北区）の鎮守。1901年以降多くの寄付・寄進を行う
30	徳川慶喜公伝	1893年頃から編纂開始、25年後の1918年に全8巻として刊行。徳川慶喜の汚名を晴らす思いをこめた。
31	東京商法会議所（現・東京商工会議所）	1878年我が国初の商法会議所として設立。渋沢栄一が初代会頭となる。
32	日印協会	1903年渋沢栄一が大隈重信、長岡護美と共に設立。日本とインドの親善・相互文化交流をはかる団体
33	青天を衝け	2021年放送予定の大河ドラマ 渋沢栄一を主人公に幕末から明治までを描く。
34	養育院（現・東京都健康長寿医療センター）	1872年困窮者、病者、孤児、老人、障害者の保護施設として渋沢栄一を初代院長に設立。
35	渋沢史料館	1982年渋沢栄一の活動を広く紹介する博物館として旧渋沢邸跡地に開館
36	摂善会（現・全国銀行協会）	1877年銀行業者の親睦を図り営業上の利害を協議するため創立
37	竜門社（現・渋沢栄一記念財団）	1886年 渋沢栄一郎に寄宿する青年たちの勉学や成果発表の場として設立
38	帰一協会	1912年成瀬仁蔵を中心に渋沢栄一をはじめ複数の学者・実業家により発足。宗教者同士の相互理解と協力を推進
39	誠之堂	1916年渋沢栄一の喜寿を祝い第一銀行行員の出資で建築（その年に頭取を辞任）
40	日本銀行	1882年松方正義の提案で不換紙幣の整理により通貨価値の安定を図るため設立。渋沢栄一は割引委員を務める。
41	太平洋問題調査会	1926年アジア・太平洋地域の国際交流をはかることを目的に設立。渋沢栄一は評議員会会長を務めた。
42	明治神宮	1912年明治天皇崩御直後より渋沢栄一らによる有志委員会が発足、1920年に鎮座祭
43	日本鉄道会社（現・JR東日本）	1881年日本初の私鉄として設立。渋沢栄一は1884年から理事委員を務め、後に取締役となる。
44	東京地下鉄道（現・東京メトロ）	1920年日本初の地下鉄路線を建設するため早川徳次が設立（1927年開業）。渋沢栄一はこれを後援。
45	共同運輸会社（現・日本郵船）	1882年郵便汽船三菱会社への対抗から渋沢栄一らが設立。競争、共倒れの危機から1885年に合併。
46	石川島平野造船所（現・IHI）	1876年平野富二が設立。1889年有限責任石川島造船所設立を渋沢栄一が支援。1893年に会長に就任。
47	東京製綱会社	1887年船舶用ロープの製造販売を目的に設立。1893年株式会社設立時に渋沢栄一が取締役会長

No.	キーワード	説明文
48	東京電灯会社（現・東京電力など各社）	1882年設立。東京に火力発電所を建設して電力供給を始める。
49	東洋製鉄（現・日本製鉄など）	1916年中野武蔵が中心となり創立。渋沢栄一は創立準備委員長、創立委員、創立総会議長を務める
50	秀英舎（現・大日本印刷）	1876年佐久間貞一らが活版印刷の会社を設立。渋沢栄一はそれを援助。
51	東京帽子（現・オーベスク）	1892年西洋帽子の国産化を目的に渋沢栄一が設立
52	帝国劇場	1911年日本最初の純洋式劇場として東京丸の内に開館。発起人は伊藤博文・渋沢栄一ら政財界の中心人物
53	日本放送協会（NHK）	1926年東京・名古屋・大阪の放送局が合併して設立。渋沢栄一は顧問となる
54	横浜船渠会社（現・三菱重工業）	1889年大型船舶を直接接岸でき、修理も行えるドック建設のために原善三郎、渋沢栄一らが創立